都市計画マスタープラン将来ビジョン(案)について

**〇事務局修正案**

**「豊かな自然と文化・歴史を基盤に、**

**農商工のモノづくりが育つ賑わいのある住宅都市　橋本」**

**〇前回出た主要な意見や議論**

・地域構造の限界。担い手の不足

・地域で活躍する人材の育成

・空き家、跡地等の適正な利用の促進とそのための制度や体制の整備

・（橋本市の）自然は外へ発信できる魅力。どのような形で発信するのか。

・歴史、文化、防災などの情報発信となる拠点の整備

**〇前回の意見や議論を踏まえて**

・自然、歴史、文化については暫定案でも既に明記。

・地域構造や担い手不足といった問題についての言及

　→将来ビジョンの説明文にも記載のある「適切な人口密度の維持」をもう少し前面に出す。

　　都市の核や地域の核となるエリアの整備や土地利用の適正な利用促進によって、居住

地域や交流拠点の集約を進め、人口密度の維持・向上を促す。

構造的に人口密度の減少を食い止めることで、担い手不足等の解消につなげる。

　人口密度が維持される　→　人の交流が増える

　⇒　『　賑わい　』が生まれる

　　　　※賑わいという言葉に置き換えることで、「人、モノが行き交い、活力が生まれる」

　　　　　というイメージも込めたい